



日本野鳥の会
筑豊支部

しもだ のぶひろ
下田 信廣さん

初めての出会いに感動 そして43年！

令和3年(2021)9月で200号を迎えた「鳥遊庭新聞」が一冊の本になりました。定年前から野鳥通信を出したいと思っていたと下田さん。お住まいは小高い丘の上にあります。海に近く木の実も豊かな場所にあるため、年間40種ほどの野鳥が観察できることから、「鳥が遊ぶ庭」、で「鳥遊庭」という新聞の名前がひらめいたそうです。

平成17年(2005)3月に初回発行して以来16年、月はじめに届ける手書きの新聞には、鳥の情報はもちろん、野菜の種蒔き、苗の植付け、収穫の楽しさなどの情報が満載です。B4判の特殊な用紙に写真や文章を張り付け、コンビニで約150部コピーして、学校や公民館、郵便局、駅、病院などに、自費で制作し配布しておられます。野鳥を一日中探して、一羽も見かけない日もあるけれど、鳥を見た都度、ノートに記入しているので記事はいくらでも書けるそうです。永く続いた秘訣は、野鳥が大好きで元気なこと、保

▲「鳥遊庭」《二百号記念誌》2,000円
☎0979-82-8553

育園や小学校で、子どもたちとバードウォッチングを楽しむことだと語られます。京築地域は、自然豊かで環境は多様。山から川へ流れ出たミネラルや養分が、豊前海にそそぎ、渡り鳥たちの重要な中継地である河口や干潟の生物を育てます。これらの生物がいなければ、渡り鳥たちの旅はできません。海を守るには、各人が思いやりの心を持って努力すること。自然は人間だけのものではなく、人間の勝手が自然を壊してしまうこともある。だからこそ、これから自然の大切さや野鳥たちのことを伝えたい!そして、まだまだ多くの感動に出会いたい!と意欲的

(レポーター/ヒメジャガ)

話題 のお店

Keichiku Topic
オーガニック商品と雑貨のお店
つむぎ日和

昨年6月に吉富町に新しくオープンし、オーガニック商品や雑貨を販売している「つむぎ日和」。お店の名前の由来は、人と人のご縁をつなげる＝つむぐ場所にしたいという思いから。体に優しいオーガニック商品や選りすぐりの雑貨をたくさん販売しているほか、お客様同士のお話会や講演会、物を大切にしようと呼びかけるために、穴が空いてしまった服などを縫う「チクチクの日」を開催しています。店長こだわりの商品をぜひ手に取ってみてください! (レポーター/ケイトウボーイ)

Shop Information

[住] 吉富町大字小犬丸66番地1
☎080-1728-6393
[営] (火～金)11:00～16:00



編集後記

京築地域には誌面では伝えきれない魅力がいっぱいあります。編集者としての望みは、皆さんがその場所に足を運び、伝えきれなかった魅力を体感してもらうことです。冬の京築にもどうぞご期待ください! (レポーター/キーボーイ)

京築応援団便り 豊のくにけいちく

「京築応援団」団員募集中! (入会無料)

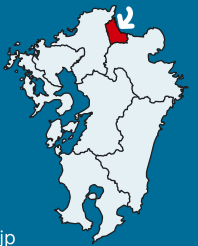
京築を応援するファンクラブに入ませんか?
お申し込みは「京築まるごとナビ」から

発行: 京築連帯アメニティ都市圏推進会議 事務局 (福岡県広域地域振興課内)
企画編集: 京築応援団会報編集委員会、豊の国海幸山幸ネット

問い合わせ: 福岡県広域地域振興課 / 〒812-8577 福岡市博多区東公園7番7号
TEL.092-643-3178 / FAX.092-643-3164 / E-mail.koiki@pref.fukuoka.lg.jp



いっしょに
京築ってこ



けいちく検定

初詣 2022 京築神社クイズ

効田町



〈問1〉
宇原神社の境内にある
この石はなんなんだ?

行橋市



〈問2〉
6世紀に創建され
左留多比古社とも
呼ばれた神社は
どこなんだ?

みや町



〈問3〉
生立八幡宮の大楠の
守り神となっている
生き物はなんなんだ?

築上町



〈問4〉
県内最古の絵馬がある
神社はどこなんだ?

豊前市



〈問5〉
厳島神社にある
珍しい動物の石造は
なんなんだ?

上毛町



〈問6〉
松尾山上宮にある
戦争戦勝記念に
祀られたもの
なんなんだ?

吉富町



〈問7〉
毎年10月14日に
行われる壺神社の
伝統行事はなんなんだ?

車軒×澤(2回) 豊前(9回) 華城(9回)
軒軒×澤(4回) (いりやま) 首領(8回) 豊前(8回)
(空のま) 軒ノミ 空のり 軒軒×澤(1回) 豊前

豊のくにけいちく

京築応援団便り

Toyonokuni Keichiku 2022 January

©IZUMI HARAGA

は



冬
vol.45

心をひとつに冬の京築

私のまち

行橋市



令和2年(2020)4月に図書館等複合施設「リブリオ行橋」が開館しました。この施設は、地域交流、文化、情報発信の拠点として、本や雑誌の貸出・閲覧以外に、一時預かり保育や文化交流施設(ホール・スタジオ)の利用など様々なサービスが提供されています。ちなみに、「リブリオ」とは、「図書館」の英語libraryと「川」のスペイン語rioを合わせた造語で、公募により決定しました。コロナ禍でのリフレッシュの場所として、図書館とは思えないおしゃれで快適な空間をぜひ訪れてみてください。

(レポーター/まきまき)

コロナ禍の季節を乗り越え、また新しい年が始まりました。想定外の暮らしの中で、新たな気づきが、伝統の継承と新しい提案という種となって、京築の大地に芽吹いているようです。知ってるつもりで、知らなかったヒト・モノ・コト!の京築自慢を、わかちあい育てていきましょう。

我がまちの
ヒト・モノ・コト!

ここがすごいよ



[問] リブリオ行橋(行橋市図書館等複合施設)

☎0930-25-1911

[住] 行橋市大橋三丁目18番1号

豊の国 京築かるた紀行

領民のいのち救った延塚奉行

領民のいのち救った延塚奉行

築上町の偉人「延塚卯右衛門敷充」は、大勢の農民を救った命の恩人として、「延塚奉行」と呼ばれ慕われています。

天保7年（1836）、長く続いた凶作で農民の生活が困窮した時、旧築城郡の筋奉行だった延塚卯右衛門は、農民の負担軽減のため、郡代に年貢米の減免を申し入れました。しかし、聞き入れてもらえず、独断で根付料（種籾や田植えの賃付金）の返済を免除し、その責任を取って役宅で切腹しました。旧築城郡の人々は、命とひきかえに自分たちを救ってくれた延塚奉行の遺徳を偲び、顕彰碑や報徳碑を建て、深く感謝の意を示しました。

延塚卯右衛門は、今なお忘れられることなく、毎年十二月には追善供養祭と顕

彰武道大会が開催されており、役宅のあった場所は延塚記念館となっています。延塚記念館内にある築上町歴史民俗資料館（毎週木曜日開館）には延塚奉行の遺言状などが展示されており、無料で観覧することができます。

（レポーター「うめ」とい



〔問〕 築上町歴史民俗資料館 〔☎〕 0930-56-1575 〔住〕 築上町椎田1646

応援団ひろば

京築神楽公演のお知らせ

「京築神楽の里フェスティバル」

開催日：令和4年1月23日（日）
会 場：苅田町中央公民館（苅田町京町2丁目5番地）
入場料：無料 ※要事前申し込み

京築地域の神楽団体が一堂に会し、華麗な舞を披露します。京築に息づく伝承の舞、神楽の魅力を存分にお楽しみください。

「福岡京築恵みの玉手箱Instagram」を開設しました！

福岡県京築地域の観光スポットをはじめ、グルメ情報を発信する「福岡京築恵みの玉手箱Instagram」を開設しました！7市町（行橋市・豊前市・苅田町・みやこ町・吉富町・上毛町・築上町）のおすすめスポットをぜひお楽しみください！

●問い合わせ先
京築連帯アメニティ都市圏推進会議事務局（福岡県広域地域振興課内）
〔☎〕 092-643-3178



美しい稜線を描く障子ヶ岳



みやこ町

標高427mの障子ヶ岳は、京都・田川の郡境に位置する戦略上要衝の地。14世紀中頃、足利尊氏の命を受け山城が築かれました。その後、幾多の戦乱で城主は次々と変わり、天正14年（1586）黒田孝高によって落城し、廃城となったようです。

昭和30年頃まで山頂付近は、牛馬の飼料となる干草の刈り場であったため、辛うじて稜線は保たれていました。しかし、生活様式の変化により、山は大きく荒廃。昭和62年（1987）、勝山町文化財保護委員会が発足し、調査で登った障子ヶ岳に落胆。「昔のような登山道を整備しなくては」という委員の声に町の教育委員会が動きしました。「城攻め」と称して、数年間で千人を超す町民が草刈りや清掃登山を繰り返し、障子ヶ岳は見事に再生。元旦には「初日の出登山」が行われています。

（レポーター「とらアバ



美味しいが口の中で大爆発！ 豊前海一粒かき

豊前市



漁師が手間暇かけて一粒、一粒丁寧に磨き、殻が付いた状態で販売することから名付けられたという「豊前海一粒かき」。殻が付いていることによって、調理する直前まで鮮度が保たれています。丸々と肥え、殻いつぱいに詰まったたっぷりの身は、濃厚な味わい特徴です。12月～2・3月までの冬季限定にはなりますが、この期間限定を楽しんでいただけたらと思います。うみてらす豊前「豊築丸」の浜焼き小屋は、直売所「四季旬海」で購入したかきや魚貝を持ち込んで、海鮮BBQが楽しめます。1月7日（金）オープン！ぜひ食べてみてください。

（レポーター「モアナ

来年完成！ 上毛アリーナ

上毛町

上毛町では、生涯スポーツの推進をはじめ、地域コミュニティの醸成と定住人口の増加に向け、多様な交流を促進する新しい体育館を建設します。

メインとサブの2つのアリーナを緩やかに周遊できる∞型スロープでつながぎ、出会いと交流が生まれる活気あふれる空間をつくることで、人々の日常に溶け込み、地域の皆さん型に親しまれ町のシンボルとなるコミュニティ型の体育館を目指します。

（レポーター「ギョ



一度食べたら忘れられない味噌

苅田町

昭和62年（1987）に開設された等覚寺特産品加工場では、月に約4200kgもの米を仕込み、味噌を作り続けています。沖縄産の海水塩を使い、麹づくりは加工場の温度や湿度など細かな調整を行うこだわりぶり。試行錯誤の末、唯一無二の味噌にたどり着きました。

遠方からのお客さんも絶えず、日本全国に「松会みそファン」が拡大しています。生産者グループには若い方も参入しており、おいしい味噌を作り続けるという使命は次世代へと受け継がれていくことでしょう。松会みそは苅田農産物直売所のほか、行橋やみやこ町勝山のJA直売所などで販売されています。

（レポーター「キーボーイ



町おこしの先駆者 内野東庵



築上町

内野東庵は、天保12年（1841）に築上町本庄に生まれた医師です。「医は仁なり。あまねく世人の為に計るものなり」を信条にし、医療で病を治すのはもちろん、貧しく衛生状態も悪い農村の暮らしを変えようと奮闘しました。病人の熱さましに必要な水を確保する雪穴を掘り、城井川の岩盤を掘削して道路を拡幅。病人を搬送するために萱切トンネルを掘削するなど、インフラを整備。また、農民たちが現金収入を得るために、大楠の苗木を頒布したり、夏みかんの栽培や櫛の植林など、殖産興業を手がけます。

さらに、女子教育のために「養徳館」という裁縫を学ぶ場を提供。大火に見舞われた人たちの救済など「知行合一」の実践家でした。還暦後に出家した後は「早起きは三文の得」になると、錫杖と鐘をならして住民の早起きを促したと伝えられています。築上町では、6時に目覚ましメロディが放送されています。が、東庵先生に寄せる思いの現れかもしれません。

（レポーター「mulberry



全盛期のアサリ漁場を復活させるために！！

吉富町

かつて吉富漁港ではシャコや車エビ、キヌ貝などが豊富に水揚げされ、なかでもアサリは、石の数よりも多いとまでいわれた時代がありました。

昭和61年（1986）の約1万1千トンピークに、環境の変化や波浪による稚貝流失などの影響により年々アサリ漁獲量が減少し、現在は200トンにまで落ち込んでいます。

吉富漁業協同組合と福岡県水産海洋技術センター・豊前海研究所は、再び全盛期の漁場を取り戻すため、干潟でアサリの安全な生育場所をつくり、稚貝の付着を促す取組を行っています。その成果もあり、今では5月の連休中に一般の人潮も潮干狩り体験ができるまでになりました。全盛期の漁場に復活する日も、そう遠くありません。

（レポーター「ケイトウボーイ

荻田町の お地藏様と 京築地域の「千人参り」

コロナ感染拡大から3年目の冬。閉じこもりがちだった日々の暮らしの中で、感染状況を確認しながら、周りの風景に目を向ける余裕も生まれつつあります。

Withコロナには、散歩が一番！

路地裏の田んぼの畦で、静かに微笑んでいるお地藏様に会ったら、その由来を知り、祈り、御加護にあやかりたいと思ったことはありませんか？

令和4年の新年号の民話瓦版は、荻田町に伝わるお地藏様の民話を紹介しながら、京築の人々の心に息づく祈りの心と文化について語りたいと思います。



「尾倉の子好き地藏」

暑い夏の日のことやった。尾倉の子もまた数人が川の近くに祀られていたお地藏さんを小川に抱え込んで水遊びをしよった。お地藏さんは水を頭から浴びて、さも嬉しそうやった。そこに通りかかった隣村の五平爺さんは「お地藏さんを玩具代わりにするとは何事じゃ、早つ元に戻さんか」と子どもたちを叱りつけよった。

ところが、五平爺さんはその日から急に高熱を出して床についてしもった。お婆さんは心配して薬を買って来たり、冷たい水で頭を冷やしたりしたけど、五平爺さんの熱は一向に下がらんかった。

みなんばる

「南原こづき地藏」

南原に、咳が止まらん子どもにご利益があるというお地藏さんがおる。このお地藏さんは、い

つお参りに行っても掃除が行き届いて、お線香やお花の絶えることがない。今はいろいろなお地藏さんがたくさん安置されちよるけど、この代表

的なお地藏さんはこづき地藏さんと呼ばれとる。「こづき」とは、荻田地方の方言で咳をすることを言います。お堂の中の伝書には「子好地藏菩薩」となっているが、こづきが子好きで子好地藏さんとなったんやろう。

今は少なくなっちゃるようやけど、こづき地藏さんに願をかけた人はハッタイ粉をお供えて、お地藏さんのアテコ（胸当てのこと）と自分が持って行ったアテコを交換して帰り、風邪で咳の出る子どもにこのアテコをかけてやると、

そこでお婆さんは困り果てて占い師に見てもらうと、占い師は「お地藏さんの祟りじゃ」と言った。お婆さんは家に帰り「お爺さん、あんた、こぞでお地藏さんを粗末にせんじやったね」と尋ねよった。

五平爺さんは顔色を変えて「なんの、粗末になんかするもんか。尾倉の子もまたちがお地藏さんを玩具にして遊んどったけ、たしなめただけじゃ」と答えよった。お婆さんは驚いて「お爺さん、何言いよるんね。尾倉のお地藏さんは子ども好きやけ、昔から子どもと遊ぶのを喜ぶと言われちよるんよ」とお地藏さんの由来を話した。それを



不思議なことに咳がびたりと止まると言われちよった。

ハッタイ粉を口に入れば、ますます咳が出そうなんもんやけど、お地藏さんが子どもの身代わりとなつて咳をして、子どもの咳を鎮めてくださると言つことなんやろう。何と寛大なお地藏さんのことよ。お地藏さんはいつても微笑みながら、子どもたちを見守ってくださるそう。

おしまい。

「尾倉の子好き地藏」は、県道254号線を行橋市から小倉方面に向かって、すみれ幼稚園尾倉分園横の角を左折、進んだ先に見える「深田大池」脇の階段を上った広場にあります。

今では守り人もおられないそうですが、昔は地域の方が集う賑わいの場所だったとか。さらに県道254号線を小倉方面に進み、セブンイレブン南原店前の信号を右折すると日豊本線「鳴光地藏」を右折すると日豊本線「鳴光地藏」踏切「手前」に「南原こづき地藏」があります。どちらの境内にも十三佛様※が祀られ、祠の入り口には「新四国八十八か所〇番札所」の表札が掲げられて、祈りの文化を支えてきた貴重な場所であることが分かります。

京築地域には20年ほど前まで「千人参り」の風習が残っていました。この風習は弘法大師ゆかりの霊場を巡拝する四国遍路や山岳信仰としての修験道にも深いつながりがあります。しかし、修験道本来の入峰、登拝など籠山修行の厳しい行法の形はとれません、歩くことによって人々の親睦の場、心身堅固の場、心の癒しの場として親しまれてきました。巡拝者、接待する人、札所世話人など千人もの多きにわたり地域全体に支えられていることを称して「千人参り」と呼ばれるようになったようです。

京築地域（主に荻田町・行橋市・みやこ町など）では、4月初旬に10日前後の日程で、白衣に輪袈裟をまとい金剛杖を持った、多い時には100人ほどのお遍路姿の



人々が町中や道の端、山中に祀られているお大師様や観音様、お薬師様、お地藏様を巡ってお参りをされていました。美夜古郷土史学校会員の横山英男さん（91歳）は、「四国まで行けない人のために四国霊場の砂を持ち帰り、88体の石仏を祀って『新四国八十八か所霊場』を作ることが明治時代から各地で行われるようになった。主なものは行橋市稲童の立山霊場や元永山、豊津の国分寺境内に霊場として残っている。『千人参り』で各地を巡る時に使用した団旗や『新四国霊場巡拝日割』が豊津の国分寺に保存されている。」と語られます。荻田町にはこの他にも稲光の石地藏や黒添の水玉地藏、岡崎のいぼ地藏など「千人参り」で巡拝する、お地藏さんにまつわる民話が残っています。



▲岡崎のいぼ地藏



▲尾倉の子好き地藏



▲黒添の水玉地藏



▲南原こづき地藏